



## 草木の芽吹きとともに 教育活動も本格始動

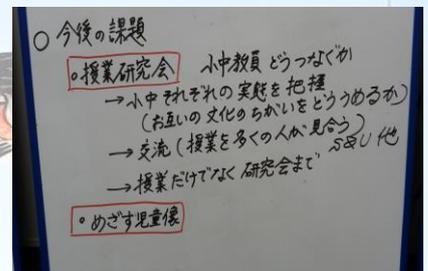
新緑がまぶしい季節になりました。運動会や修学旅行等、様々な学校行事へ向けての準備が進められていることと思います。5月5日、暦の上では立夏を迎えましたが、まだまだ朝晩肌寒い時期です。子どもたちとともに様々な教育活動に万全な体調で取り組めるよう、先生方御自身の体調管理にも気を付けてお過ごしください。

また、新しい環境にも慣れ始めた子どもたちに、変化が現れてくる時期でもあります。この時期に学校生活への適応が難しくなってくる子どもたちがいることも現実です。ぜひ先生方同士の情報交換や情報共有、家庭との連携を密にして、不安や悩みを抱える子どもたちへの支援もお願いいたします。

### 学習指導主任研修会にて

5月1日(月)に市の学習指導主任研修会が実施され、宇都宮大学の 松本敏 教授に御講話をいただきました。「学習指導主任の役割～小中一貫教育を視野に入れて～」と題し、他市町における取組や、成功させるための鍵は何か、小・中の先生方のつながりの重要性について具体的なお話をいただきました。参加された先生方からは、校内の研究体制や小・中が連携した研修の進め方等、小中一貫教育の糸口が見えてきたという声も聞かれました。

長年、市で取り組んでいるS&Uコラボは、中学校区ごとに先生方が交流できる絶好の機会です。授業参観だけでなく、参観後の授業研究会で小・中の先生方が意見交換をする場を充実させることも、学力向上へ向けた一つの取組になると感じました。



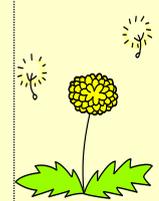
### 教科書採択について

今年度は、初めて平成30年度から使用する小学校「特別の教科 道徳」の教科書の採択が行われます。第1回教科書選定委員会は、5月29日(月)に行われます。今後、小学校の先生方からの意見書等、取りまとめを致しますので、御協力をお願いします。なお、下野市教科書センターにおける教科書展示会は6月16日から7月2日までの14日です。

# 【5月の予定】

※ 時間のみ記載の研修会の場所は、下野市役所です。

※ 市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

日	月	火	水	木	金	土
	1 市学習指導主任研修 14:00 市中学校英語授業 研修①14:30	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日 	6
7	8	9 児童・生徒指導推進 中央研修会 教育会館 13:00	10 ALT 研修 14:00	11 市P連総会 15:30	12 市小中一貫教育 プロジェクト委員会① 14:00 下地区学校保健会 総会	13
14	15 市中学校英語授業 研修②14:30  児童・生徒指導研修 14:00 修学旅行 ～16日 (南河二中)	16 市事務職員研究協議会 研修会 14:00 市情報教育推進委員会 ①・情報教育研究会 15:30 修学旅行 ～18日 (石橋中)	17 共同訪問 (南河内中)	18 定例教育委員会  修学旅行 ～19日 (吉田東小・ 吉田西小・ 国分寺西小)	19 下地区教育相談 連絡会研修会①13:30 間々田市民交流センター  修学旅行～21日 (国分寺中)	20 細谷小運動会 石橋北小運動会
21	22 市中学校英語授業 研修③14:30  市栄養教諭・ 学校栄養職員 研修会 14:00	23 特別支援教育 コーディネーター研修 15:00  ゆうがお CAFÉ 17:30	24 市校長定例 会議②9:00	25 小学校社会科副読本の 活用研究 14:00 下地区特別支援教育研究 協議会総会 14:00 都賀ハートホール 修学旅行 ～26日 (薬師寺小)	26	27 祇園小運動会 緑小運動会 石橋小運動会 古山小運動会 国分寺小運動会 国分寺東小運動会
28 	29 第1回教科書選定 委員会 15:00  修学旅行 ～31日 (南河内中)	30 下地区臨時採用 教職員研修会 13:00 間々田東小	31 市議会開催 	【お知らせ】 栃木県では5月よりクールビズを推進して います。男性の先生方は、学校での勤務だけ でなく、校外での研修会参加の際にも、ノー ネクタイでご参加ください。		

## Pepper 社会貢献プログラムによる プログミング学習スタート!

命令を1つ間違えただけでも、思い通りには動かないのがコンピューターです。自分の思い通りに動かなかったときに、「なぜ間違えたのか」「何を間違えたのか」「どのように修正したらよいのか」を考えることが必要になります。

情報化社会を生きる子どもたちに必要な力は、コンピューターでは替わることができない「創造力」と「コミュニケーション力」と言われています。

下野市では、51台の Pepper が第1期導入校の8校に配置され、プログラミング学習が始まっています。命令を与え、上手く動かすことを体験したり組合せを修正したりして、より上手くいく方法を見付け出すことで、プログラミング的思考の深まりが期待できます。プログラミング教育は、プログラマーの育成が目的ではありません。問題解決の手順を学ばせていきたいものです。

